

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：作物】

設問1 用語解説問題

1. 品種の早晩性について説明しなさい。(250字程度)
2. 次の事項の中から四つを選択して簡潔に説明しなさい
(各250字程度、全体で1,000字程度)
 - (1) ソースとシンク
 - (2) 自家不和合性
 - (3) 耕種的病虫害防除
 - (4) 水稻の省力散布除草剤
 - (5) 麦類の縞萎縮病
 - (6) 大豆と根粒菌
 - (7) ばれいしょ栽培における培土の効果
 - (8) かんしょの省力機械化栽培
 - (9) そばの湿害回避栽培法
 - (10) モロコシ
 - (11) チャ新芽の出開き
 - (12) 緑茶と紅茶の製造法の違い
 - (13) さとうきび品種「Ni27（農林27号）」

設問2 技術適用力問題

持続可能な産地形成の一手法として、一般用途と異なる特徴を持った新品種の導入がある。これにより、他産地と差別化を図り特色ある普通作物又は工芸作物の産地形成が可能となる。はじめに、該当地域における具体的な作物の主要品種について、生産・栽培の現状と課題を述べなさい。次に、上記観点に鑑み、候補となりうる新規導入品種の特徴と導入メリットを説明しなさい。さらに、実需者との連携や売り先の確保など、新規導入品種の普及を加速させるために講ずべき取組について、あなたの考えを述べなさい。(1,200字程度)

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：園芸】

設問1 用語解説問題

1. ゲノム編集技術について説明し、園芸作物における実用化の事例を挙げなさい。(300字程度)
2. 次の(1)野菜、(2)果樹、(3)花きのいずれか一つを選び、その用語群の中から四つを選択して、それぞれについて簡潔に説明しなさい。
(各250字程度、全体で1,000字程度)

(1) 野菜

- ①バンカープランツ
- ②種なしスイカ
- ③養液土耕栽培
- ④高温障害
- ⑤チップバーン

(2) 果樹

- ①不完全甘柿
- ②ジョイント栽培
- ③火傷病
- ④多目的防災網
- ⑤双幹形仕立て

(3) 花き

- ①灰色かび病
- ②塊茎
- ③返り咲き
- ④花序
- ⑤ほ場容水量

設問2 技術適用力問題

野菜、果樹、花きの中から一つを取り上げ、①あなたの地域における生産の現状や問題点を具体的に述べなさい。また、「みどりの食料システム戦略」で、有機農業の拡大が目標にあるが、野菜、果樹、花きの中から一つを取り上げ、②有機農業の取組事例あるいは導入すべき有機農業技術の事例を挙げるとともに、③有機農業を普及させるための技術的な課題と対策について、あなたの考えを述べなさい。(1,300字程度)

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：畜産】

設問1 用語解説問題

次の用語について簡潔に説明しなさい。(各200字程度、全体で1,000字程度)

なお、(1)については必須課題として解答し、(2)については、①から⑨の用語群の中から四つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

遺伝率

(2) 選択

①フリーマーチン

②生体恒常性 (ホメオスタシス)

③和牛

④液肥化

⑤エクストルーダ処理

⑥ウェットフィーディング

⑦日和見感染

⑧鶏のコクシジウム症

⑨ケージ鶏舎

設問2 技術適用力問題

次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。(1,600字程度)

(1) 地球温暖化への対応

地球温暖化への対応は、世界的に喫緊の大きな課題であり、農業・畜産分野においても、その対応と対策が求められている。我が国の大家畜畜産経営(乳用牛及び肉用牛)の飼養管理において発生する、温暖化の原因とされる2種類の温室効果ガス(GHG)とその発生源について記述するとともに、それらの対策として現在考えられている、生産現場における技術的対応について記述しなさい。

(2) 有機畜産について

近年、有機畜産についての関心が高まっているが、その生産の目的は農業の自然循環機能の維持増進を図ることにある。そこで「日本農林規格等に関する法律(JAS法)」で定める有機畜産(物)の生産方法の原則について三つ示し、それぞれについて解説しなさい。また有機畜産の普及は現時点では進展しているとは言い難いが、その原因について説明しなさい。

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：土壌及び肥料】

設問1 用語解説問題

次の土壌及び肥料に関する用語の中から五つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 粒径区分
- (2) 有用元素
- (3) 土壌 pH
- (4) 水分ストレス
- (5) ジピリジル溶液
- (6) 汁液診断
- (7) 仮比重

設問2 技術適用力問題

スマート農業について、以下の全ての問いに答えなさい。(1,600 字程度)

- ① スマート農業の意義、必要性について述べなさい。
- ② 土壌肥料分野に関わるスマート農業の技術を説明しなさい。
- ③ スマート農業技術の普及で考慮すべき問題点や取組について述べなさい。

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：植物保護】

設問1 用語解説問題

次の事項について簡潔に説明しなさい。(各 250 字程度、全体で 1,250 字程度)

なお、(1)については、必須課題として二つとも解答し、(2)については用語群の中から三つを選択して解答しなさい。

(1) 必須

- ① 耕種的防除法
- ② 病虫害防除における発生予察の利用

(2) 選択

- ① 土壌伝染性病害の防除対策
- ② 果樹カメムシの防除対策
- ③ 薬剤抵抗性
- ④ 機能性展着剤
- ⑤ 防除暦
- ⑥ 鳥獣害防止技術
- ⑦ 難防除雑草対策

設問2 技術適用力問題

次の全ての設問に解答しなさい。

(1) 総合防除 (IPM) で利用されている化学的防除法、物理的防除法、生物的防除法、耕種的防除法のそれぞれについて、具体的な内容について述べなさい。(600 字程度)

(2) あなたが担当している地域で栽培されている主要な作物と病虫害・雑草の組合せを1例挙げ、どのようにして総合防除 (IPM) を実践するかを問題点も含めて述べなさい。(750 字程度)

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ
【選択項目：労働・機械及び農作業】

設問1 用語解説問題

1. 次の用語について簡潔に説明しなさい。(各 250 字程度、全体で 750 字程度)

- (1) デッドマン装置
- (2) 汎用コンバイン
- (3) 圃場作業効率

2. 次の(1) 労働、(2) 機械のいずれかを選択し、その事項①、②の両方について簡潔に説明しなさい。(各 250 字程度、全体で 500 字程度)

- (1) 労働
 - ① 熱中症警戒アラート
 - ② ヒヤリハット
- (2) 機械
 - ① 可変施肥機
 - ② 搾乳ロボット

設問2 技術適用力問題

次の二つの設問の中から一つを選び、解答しなさい。(1, 300 字程度)

1. 農林水産省では、農業機械関係情報の中で、農作業安全対策としてホームページ上で多くの情報を掲載している。例えば、農作業事故の発生状況(令和6年6月3日更新)、令和6年度に向けた農作業安全対策全国推進会議などがある。

これらの情報を念頭におきながら、我が国の農作業安全対策のうち、農作業事故の発生状況や農作業安全対策の推進方針について記述するとともに、あなたの地域を例に、農作業安全対策の現状を述べ、今後の取組を提案しなさい。

2. 農作業に関わる様々なデータを可視化して、営農管理を支援するサービスが提供されている。最近では、衛星リモートセンシングにより圃場内の生育むらを可視化し、そのデータに基づいて可変施肥機と連携するシステムも提供され始めた。そこで、このようなシステムのあなたの地域における導入状況を述べるとともに、課題を整理し、今後の取組を提案しなさい。

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：地域計画】

設問1 用語解説問題

次の用語の中から五つを選択して簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 生産緑地制度
- (2) 農地中間管理機構(農地バンク)
- (3) スtockマネジメント
- (4) カーボンニュートラル
- (5) 農村RMO
- (6) 流域治水

設問2 技術適用力問題

次の全ての設問に解答しなさい。(各 800 字程度、全体で 1,600 字程度)

- (1) 多面的機能支払交付金では、農地、水路、農道等の質的向上を図る共同活動の一つとして、地域住民が施設の補修や環境保全施設の設置などに直接参加する「直営施工」という取組がある。直営施工を行うことのメリットを三つ挙げるとともに、直営施工を進める上で留意すべきことをその理由とともに説明しなさい。
- (2) 農地法及び農業経営基盤強化促進法の改正により、新規就農者に課せられる農地取得の下限面積が廃止された。この措置による地域農業への影響について、プラス面、マイナス面と考えられることをそれぞれ一つ挙げてその内容を説明しなさい。また、マイナス面を回避する対応策についても記述しなさい。

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：流通及び加工】

設問1 用語解説問題

次の用語について、農畜産物の流通及び加工の視点から簡潔に説明しなさい。

(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) 食品の三次機能
- (2) 昆虫食
- (3) アフラトキシン
- (4) 腸内フローラ（腸内細菌叢）
- (5) ハラル食品

設問2 技術適用力問題

次の設問に解答しなさい。(1,600 字程度)

令和3年5月に、農林水産省から「みどりの食料システム戦略」が公表された。その具体的な取組「(3) ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立」の中の一つに、「② データ・AI の活用等による加工・流通の合理化・適正化」がある。これについて、あなたの地域における具体的な取組の現状、あるいは今後の取組予定とその課題等について論じなさい。

令和6年 普及指導員資格試験 審査課題イ 【選択項目：経営管理】

設問1 用語解説問題

次の用語の内容を簡単に説明しなさい。(各 200 字程度、全体で 1,000 字程度)

- (1) エンゲル係数
- (2) 食品トレーサビリティ
- (3) マーケット・イン
- (4) 総資本経常利益率
- (5) 農業生産組織

設問2 技術適用力問題

次の設問に解答しなさい。(1,600 字程度)

米価の長期的な下落傾向、気候変動に伴う生産品質の不安定化に対応し、水稻の有機栽培技術の導入を検討している都市近郊の水田地帯に位置する 50ha 規模の大規模稲作法人経営がある。この技術導入を実践する場合に考慮すべき事項について、技術条件とマーケティング戦略、政策サポートなどの観点から、普及指導員として、どのような助言や支援が可能であるか、あなたの考えを述べなさい。